

CASBEEさいたま2016年版
(仮称)●●ビル

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境							0.40		-	2.9
1 音環境						3.1	0.15	3.4	1.00	3.3
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.47	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.2	0.47	3.9	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	0.88	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		(共)D数の予測式より、Dr=50を確保(住)Dr=50を確保				5.0	0.12	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		プレフロア LL-40				-	-	5.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		プレフロア LH-50				-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.06	-	-	
2 温熱環境						1.7	0.35	3.0	1.00	2.4
2.1 室温制御						2.4	0.50	3.0	0.71	
1 室温						3.0	0.58	-	-	
2 外皮性能						2.0	0.32	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性						1.0	0.10	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	3.0	0.29	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						2.9	0.25	3.7	1.00	3.4
3.1 屋光利用						3.4	0.48	3.4	0.50	
1 屋光率		(事)2.0(%)≤屋光率:2.35(%)<2.5(%)、(住)2.0(%)≤屋光率:2.90(%)				4.0	0.44	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	1.0	0.30	
3 屋光利用設備						3.0	0.56	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						2.0	0.22	4.0	0.50	
1 屋光制御		(住)庇+カーテンによる制御				2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.11	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.18	-	-	
4 空気質環境						2.5	0.25	3.0	1.00	2.7
4.1 発生源対策						3.0	0.57	3.0	0.63	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気						2.0	0.37	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.49	3.0	0.33	
2 自然換気性能		(事)自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上(住)1/6以上				4.0	0.01	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.49	1.0	0.33	
4.3 運用管理						1.0	0.06	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						1.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.0
1 機能性						2.5	0.40	3.2	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性						3.0	0.01	-	-	
2 高度情報通信設備対応		(住)各住戸で100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能				3.0	0.01	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	0.98	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.4	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		(事)2.7m≤事務室平均天井高:2.7m<2.9m、窓あり				4.0	0.14	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.01	-	-	
3 内装計画						1.0	0.85	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		劣化軽減等級:等級2				4.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.1	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.09	3.0	0.50	
1 階高のゆとり (事)飲)基準階階高・平均階高が3.9m以上			5.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ (非住宅)0.1≦壁長さ比率・0.16<0.3			4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.09	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.82	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.4	0.20	-	-	2.4
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化 [BEI][BEIm] = 0.82 高効率機器の採用			4.6	0.50	-	-	4.6
4 効率的運用			2.8	0.20	-	-	2.8
集合住宅以外の評価			2.5	0.29	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	0.71	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水 節水コマ+省水型機器			4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 -			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 -			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 躯体と仕上げ材が容易に分別可能+再利用できるユニット部材			5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率:57%			4.7	0.33	-	-	4.7
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	